

ここまでの庁舎改築周辺整備事業見直し業務の流れ

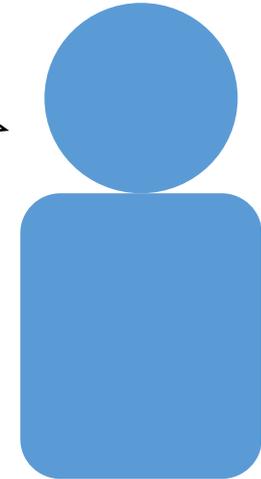
月 日	概 要
3月29日（水）	マスターアーキテクト（團紀彦氏）との意見交換
4月13日（木）	打ち合わせ（まちづくり推進室・町長）
4月14日（金）	軽井沢町庁舎改築周辺整備事業検討委員会 解散
4月28日（金）	設計事業者との打ち合わせ（オンライン）
5月1日（月）	庁舎改築周辺整備事業見直し委員会向け 委員謝礼等予算 議決
〃	庁舎改築周辺整備事業見直し委員会 設置要綱 施行
5月16日（火）	設計事業者との打ち合わせ（対面）
5月22日（月）	委員会事前打ち合わせ（事務局・町長）
5月25日（木）	第1回庁舎改築周辺整備事業見直し委員会 開催
5月30日（火）	設計事業者との打ち合わせ（オンライン）

見直し委員会（5/25実施）での町長及び委員長のあいさつ

これまでかけたコストとそこから得られた知見を活かしながら、最終的に町民のみなさん、働くみなさんにとって「建ててよかった」と言える庁舎にしたいし、そのプロセスに関する情報公開も徹底したい。

「質実剛健でありながら
品格のある軽井沢らしい建物」にしたい。

土屋三千夫 町長



池田靖史 委員長

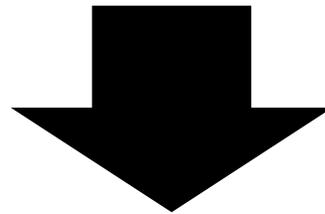


町長が民意を得て計画を見直すこととなったことは民主主義においてはとても健全な状態だと考える。

今回の見直しを「良い事例」として世の中に胸を張って出せるものにしていきたいと考える。

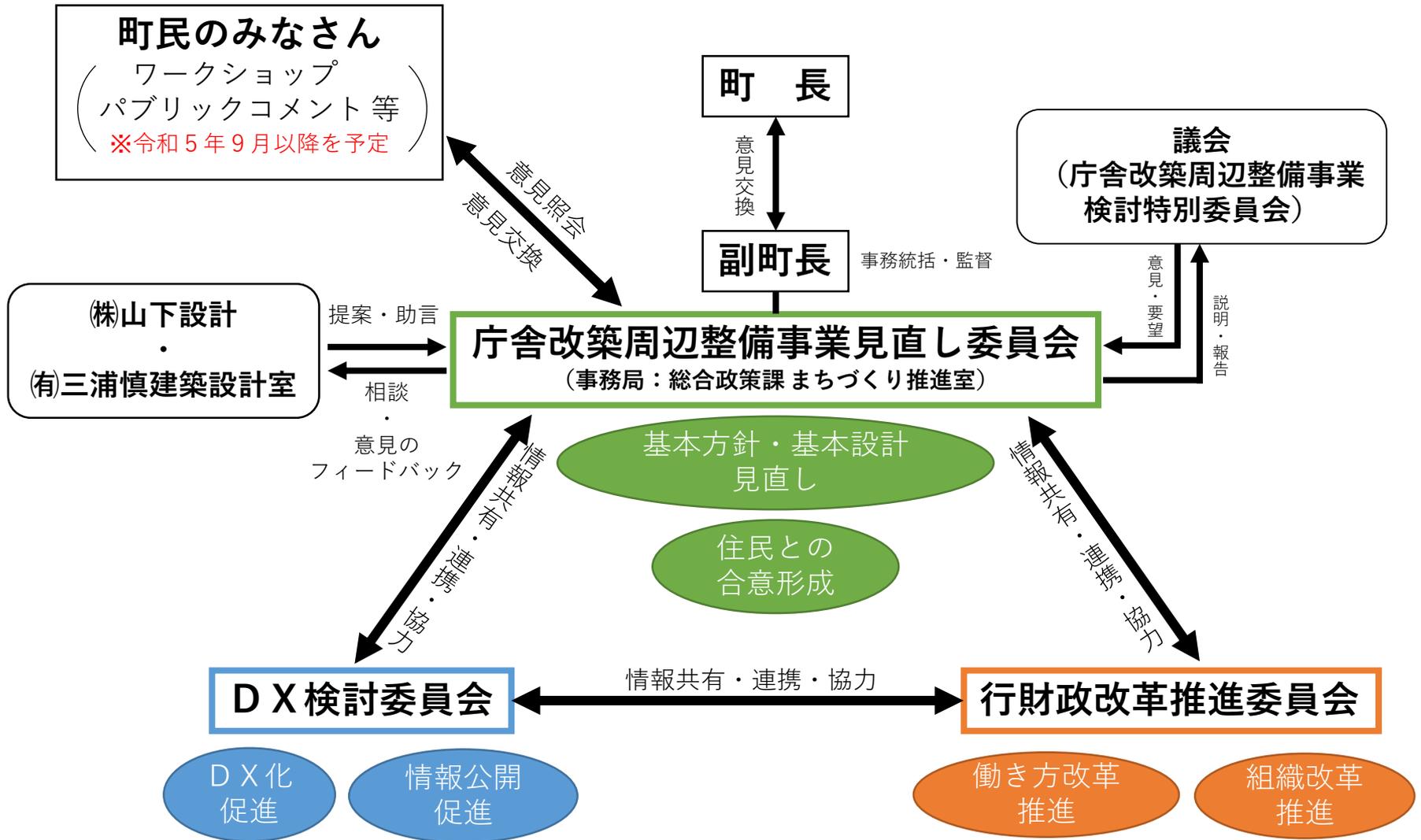
見直し委員会 (5/25実施) から出された意見 (抜粋)

- **複合施設と合わせた1つの建物** とした方が建設コストは下がるのではないか。
- 各課や各業務に対し横断的な見方をし、
スペースの共用によって面積を節約 していくべき。
- 建築案はメリットもデメリットもあつての総合判断となるが、
今回はコストが最大の判断要因。
- **設計事務所の協力 (シミュレーション、比較等)** も得ながら進めるべき。
- **複合施設との関係をインクルーシブにするのか否か**
というのは方針を打ち出すにあたりかなり大きなポイントとなる。
- B C P 観点の議論が単なる場所分けにとどまらず、
町業務の本質からどのように庁舎に収まるべきか、
あるいは分散するべきかを考えた仕分け が必要。

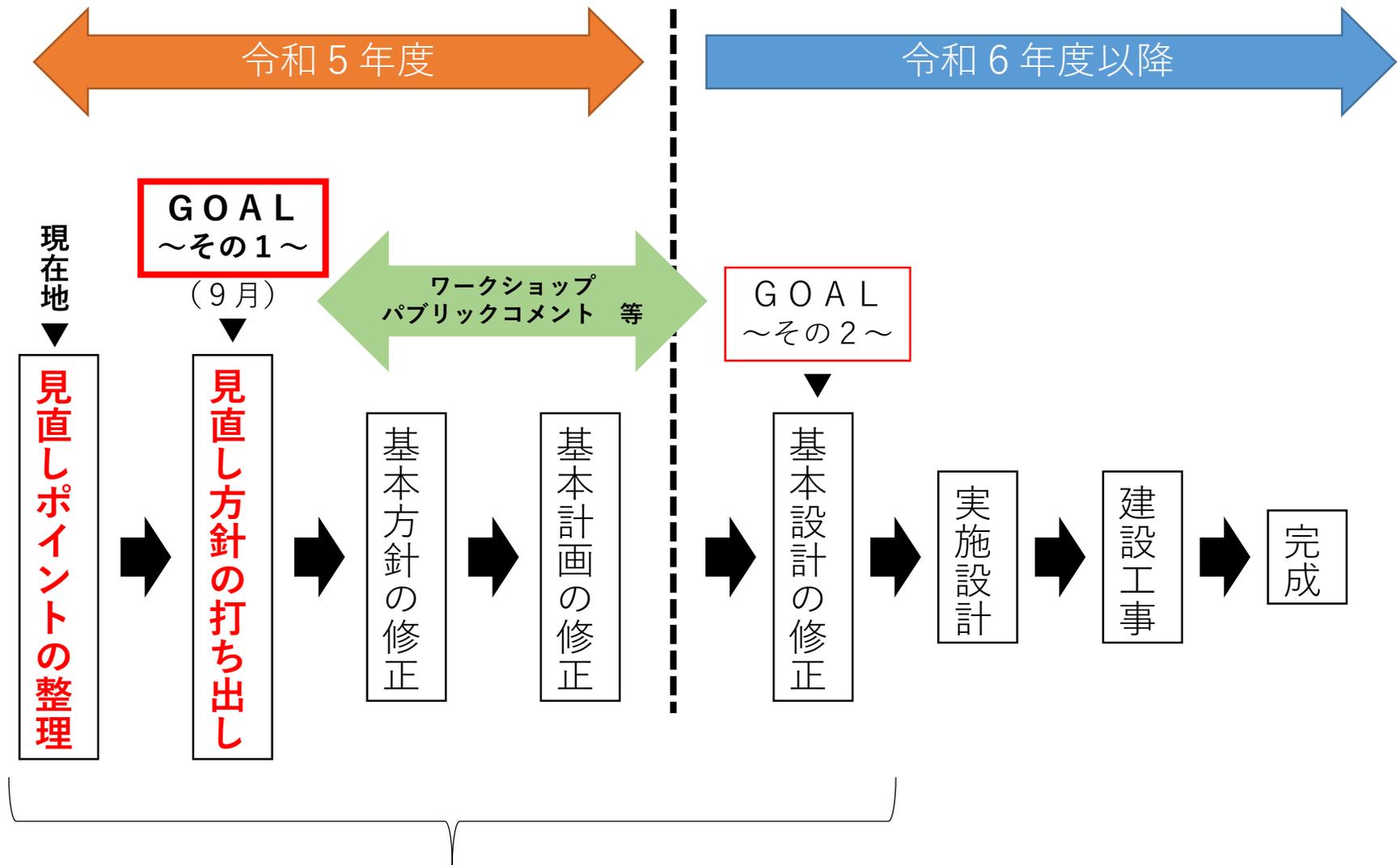


見直し方針 (素案) の作成へ

見直しにあたっての組織体制（各組織の役割・関係）



見直しのおおまかな流れ (※庁舎整備計画を先行する場合)



見直し委員会を中心に進める